

卓越した業績(Performance Excellence)を目指して
—経営品質向上の取り組み—

株式会社 開倫塾
代表取締役社長 林 明夫
(www.kairin.co.jp)

Q1：開倫塾の教育目標と対応するキー・コンピテンシーズ、社会とは何ですか。

- A：(1)「高い倫理」 「自律的に行動する能力」 →「課題山積社会」
(2)「高い学力」 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」 →「知識基盤社会」
(3)「高い国際理解」「多様な集団で行動する能力」 →「グローバル社会」
(4)「自己学習能力の育成」、「学習の学習(Learning To Learn)能力」
*「読書による思慮深さ」を身に付けること
「新聞を読み自分で考える力、批判的思考能力」を身に付けること

Q2：開倫塾の経営理念とは何ですか。

- A：(1)「顧客本位」①顧客とは塾生・保護者・地域社会
②自分の行きたい学校が「一流校」
③学校の不足する教育を補い学力向上を図る、徹底的に補う
(2)「独自能力」①社内・同業他社・異業種のベストプラクティスのベンチマーキングを踏まえた上でのイノベーション
②「学習の3段階理論(理解→定着→応用)」
③「学習する組織」づくり
(3)「社員重視」①階層に応じたエンパワーメント
②能力強化
③権限委譲
④階層に応じたエンプロイアビリティ
⑤生産性向上による雇用の維持・拡大
⑥経営情報・取り組み課題の共有
(4)「社会との調和」①法令遵守
②セクシズム(性差別)・エイジズム(年齢差別)・レイシズム(出身による差別)の排除
③社会貢献活動の推進
④CSR(企業としての社会的責任)
⑤社会的企業(社会の問題解決を目指す企業)

Q 3 : 開倫塾の行動目標は何ですか。

- A : (1) 「教え方日本一」
① 「全国模擬授業大会」
* 2013 年で 8 回目。5 月 26 日(日)白鷗大学足利高等学校富田キャンパスで開催。5 月 27 日(月)は、第 1 回世界 5S サミットのコンパクト版を実施。
② 本人の自覚を促す「武者語り」を毎授業時間ごとに 3 分以上行う
- (2) 「塾生数北関東一」
① 「教え方日本一の開倫塾を北関東のすみずみに」
② 学習塾の比較的少ない地域に立地(行きつ戻りつ、インクブロット出店)
* 埼玉県・北東地域、東京・川の手地区、海外展開も目指す

Q 4 : 開倫塾の経営方針は何ですか。

- A : (1) 「学ぶに値する塾づくり」 ① 定期テスト 100 点で学校成績向上
② 希望校合格率 100%の受験指導
- (2) 「働くに値する職場づくり」 ① 全社員の潜在的可能性の開花
② 「出入り自由」、「85 歳過ぎまで働ける」職場づくり
- (3) 「倒産しない会社づくり」 ① 企業は原則倒産、校舎は原則閉鎖
② Visionary Juku School 永続する学習塾づくり

Q 5 : 開倫塾の 3 大業務とは何ですか。

- A : (1) 「教育業務」 ・ Lesson Plan に基づいた毎回の授業(今日の目標(Can Do)の明示)
- (2) 「募集業務」
- (3) 「基本業務」 ・ 5S(整理・清掃・整頓・清潔・躰)

Q 6 : 開倫塾の社会的使命(Mission ミッション)は何ですか。

- A : (1) 「成功の実現」 ・ 学力向上による多様な選択肢のある人生の実現に貢献
- (2) 「地域の教育力向上」 ・ 学力向上による正常に機能する社会の実現に貢献

Q 7 : これからの最大のテーマは「人づくり」と「標準化」、「経営品質の向上」だそうですね。

- A : (1) 校舎数の壁(節目ごとに「方法」や「しくみ」を変え続ける)
- ① 11 校舎
② 68 校舎
③ 3 ケタ校舎
- (2) 「開倫師範学校」
- ① 「Kairin Teachers' School」
② 「Kairin Principals' School」
- (3) 「開倫ビジネス・スクール」
- ① 「TOEIC・TOEFL プログラム」
② 「ワード・エクセルプログラム」
③ 「グローバル人財育成プログラム」
- (4) 「5S」→「基礎教育」→「標準化」→「改善活動」→「ISO」→「統計的手法の活用」→ TQM
→「シックスシグマ」→「デミング賞」→「日本経営品質賞」
- (5) 開倫塾の経営品質向上の取り組み
- ① 1998 年 キックオフ
② 2000 年 「栃木県経営品質賞」優秀賞受賞
③ 2002 年 「栃木県経営品質賞」知事賞受賞
④ 2002 年 「教育経営品質研究会」主催(東京丸の内)で年 10 回
⑤ 2009 年 「ハイサービス日本 300 選」受賞
⑥ 2012 年 「開倫塾学習塾基本調査」スタート(年 3 回)

—— 教育の質とは ——

①カリキュラムの質
②教師の質
③マネジメントの質



以上